

第2回 あびこ e モニターアンケート

「子育て・教育について」集計結果

アンケート送信日	平成27年11月1日（日）
実施期間	平成27年11月1日（日）から平成27年11月14日（土）
登録者数	217名
回答者数	157名
回答率	72.4%

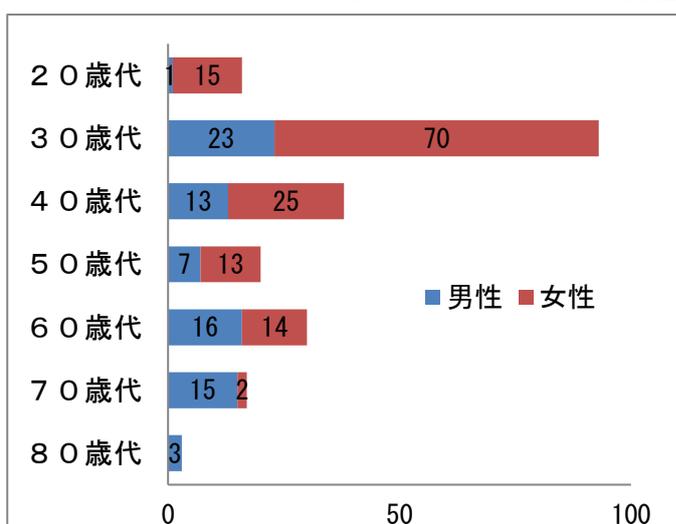
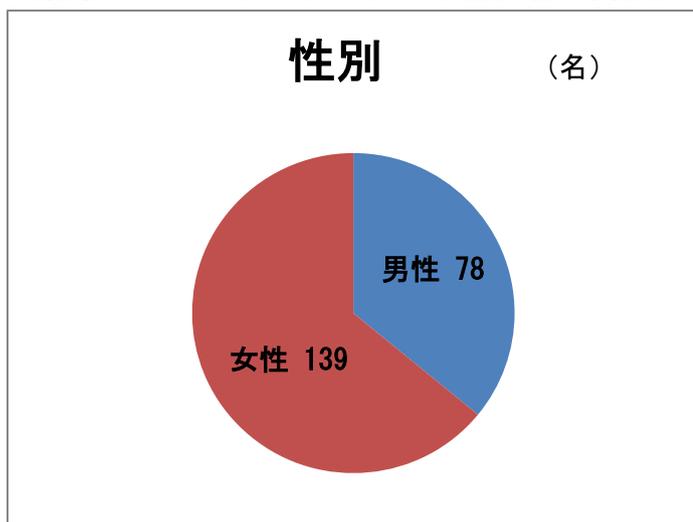
<実施の目的>

【子育て】子育ての実態、保護者の意識やニーズを把握し、子育て支援の充実を図る。

【教育】学校・家庭・地域が連携し、地域全体で学校を支え、地域ぐるみで子どもを育てる「地域とともに歩む学校」を推進する。

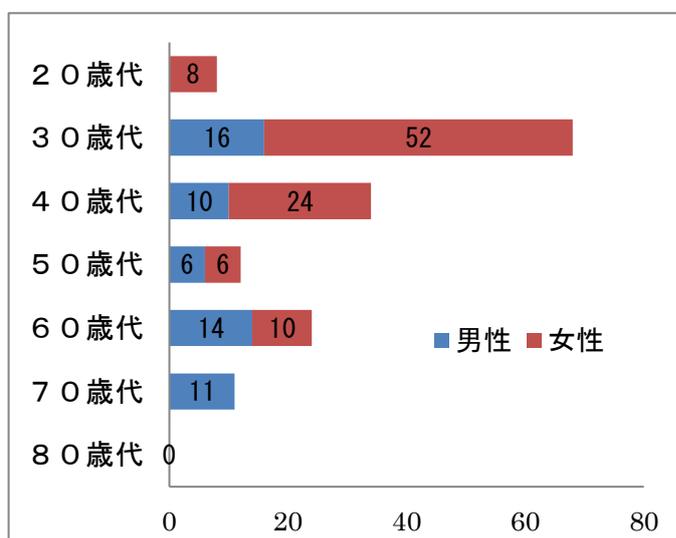
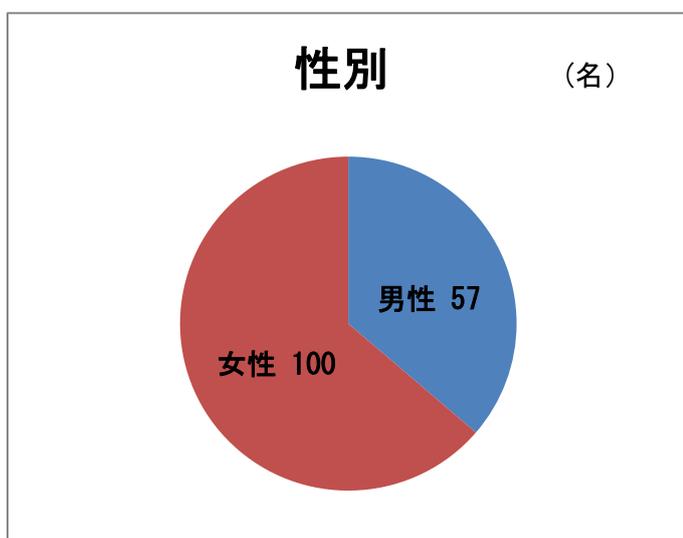
<あびこ e モニターアンケート登録者の内訳>

平成27年11月1日現在



<アンケート回答者の内訳>

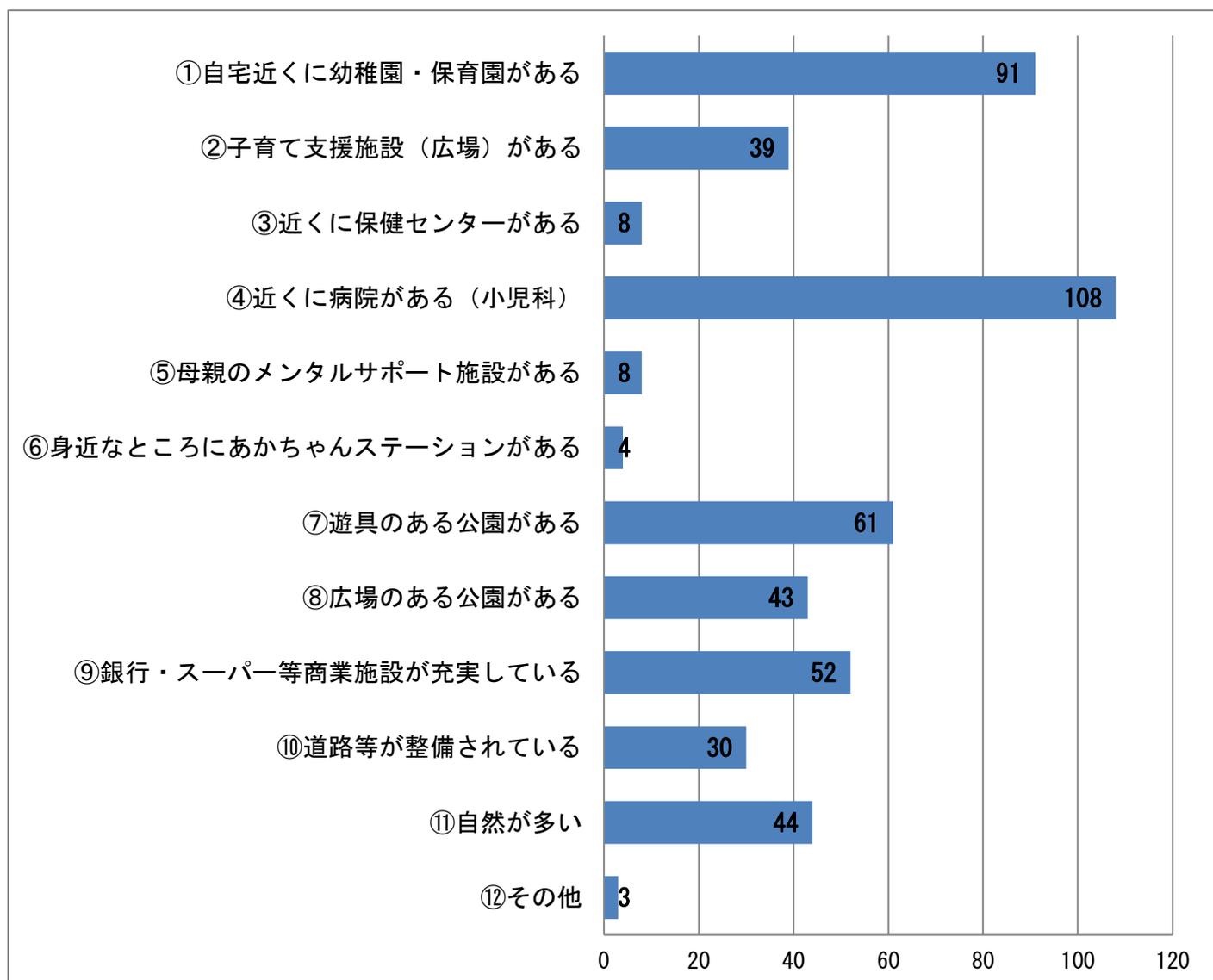
平成27年11月14日現在



【子育てについて】

問1 あなたが子育てに必要なとしている環境をお答えください。(3つまで選択可)

(名)

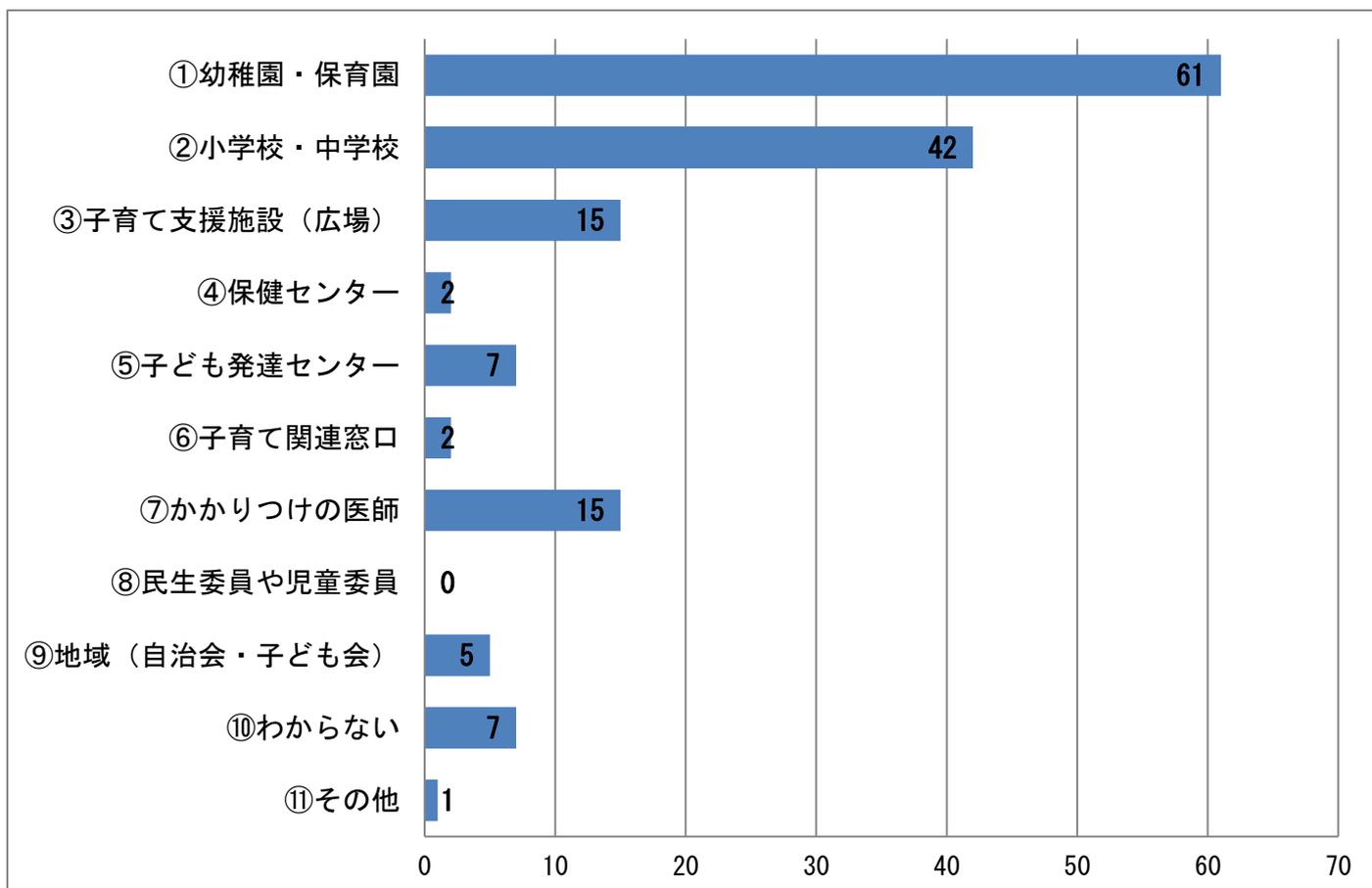


【子ども部 保育課より】

更なる子育て環境の整備に努めていきます。

問2 市では、子育て支援を推進していますが、子育てに最も影響を受ける施設等がありますか？

(名)

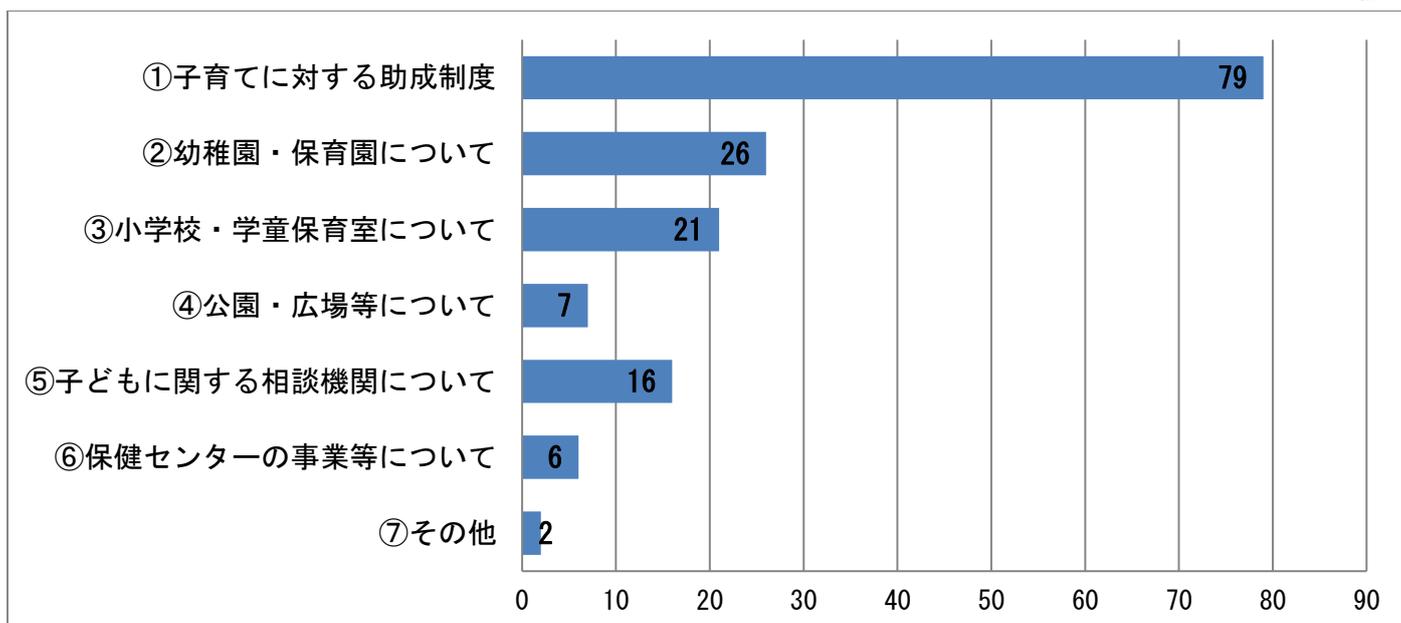


【子ども部 保育課より】

公共施設や教育施設の外、かかりつけの医師と回答した方もおり、健康や発達への関心と支援の必要性が伺えます。

問3 子育てに必要と思われる情報は何か？

(名)

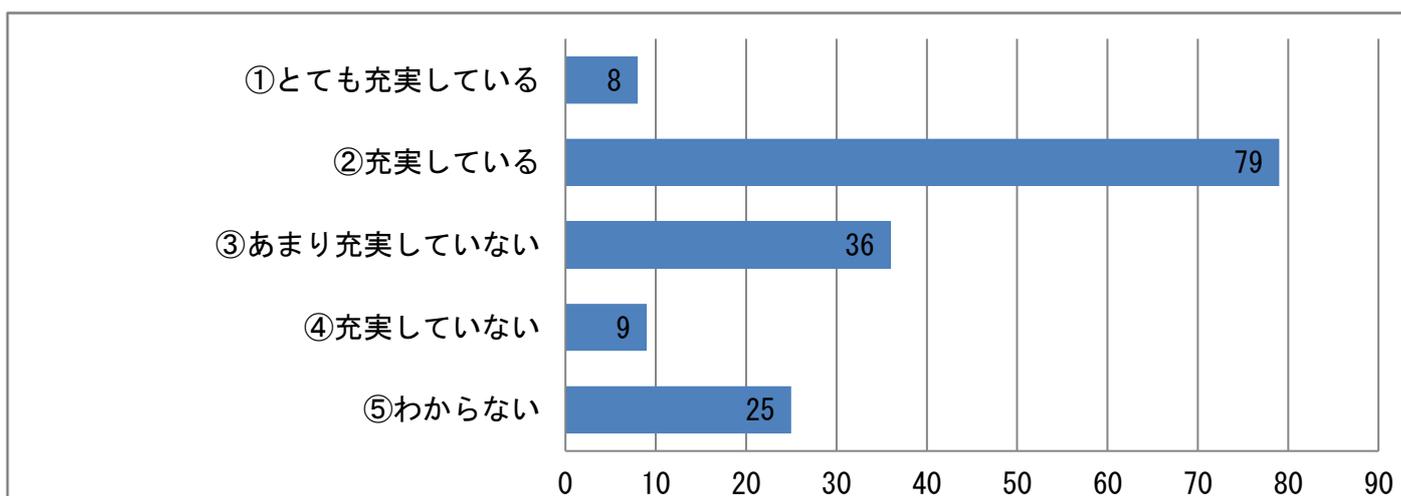


【子ども部 保育課より】

今後も子育て情報誌やチラシ等で、より必要と回答のあった「子育てに対する助成制度」を中心に情報の周知に努めていきます。

問4 市では、子育てにかかる経済的負担を軽減するため、園児補助金・児童手当・児童扶養手当の支給や、子ども医療費助成などをおこなっています。こうした子育て家庭に対する経済的支援が充実していると思いますか？

(名)

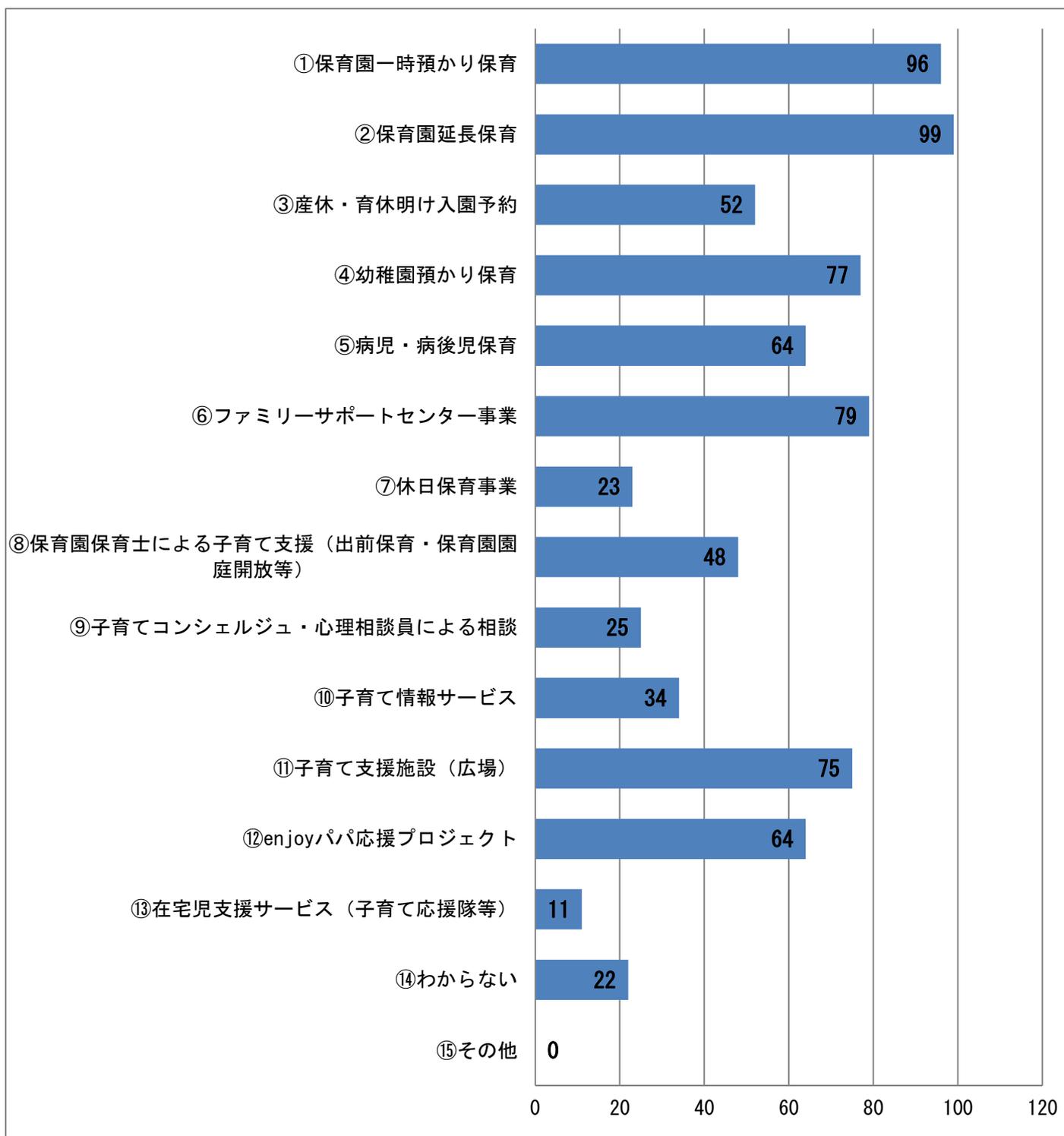


【子ども部 保育課】

「充実している」と回答した方が多くいる一方、「あまり充実していない」「わからない」という回答も寄せられました。子育て家庭に必要な経済的支援の見極めと利用に向けたPRをおこなっていきます。

問5 市で実施している「子育て支援サービス」についてご存知のものはありますか？（複数回答可）

（名）

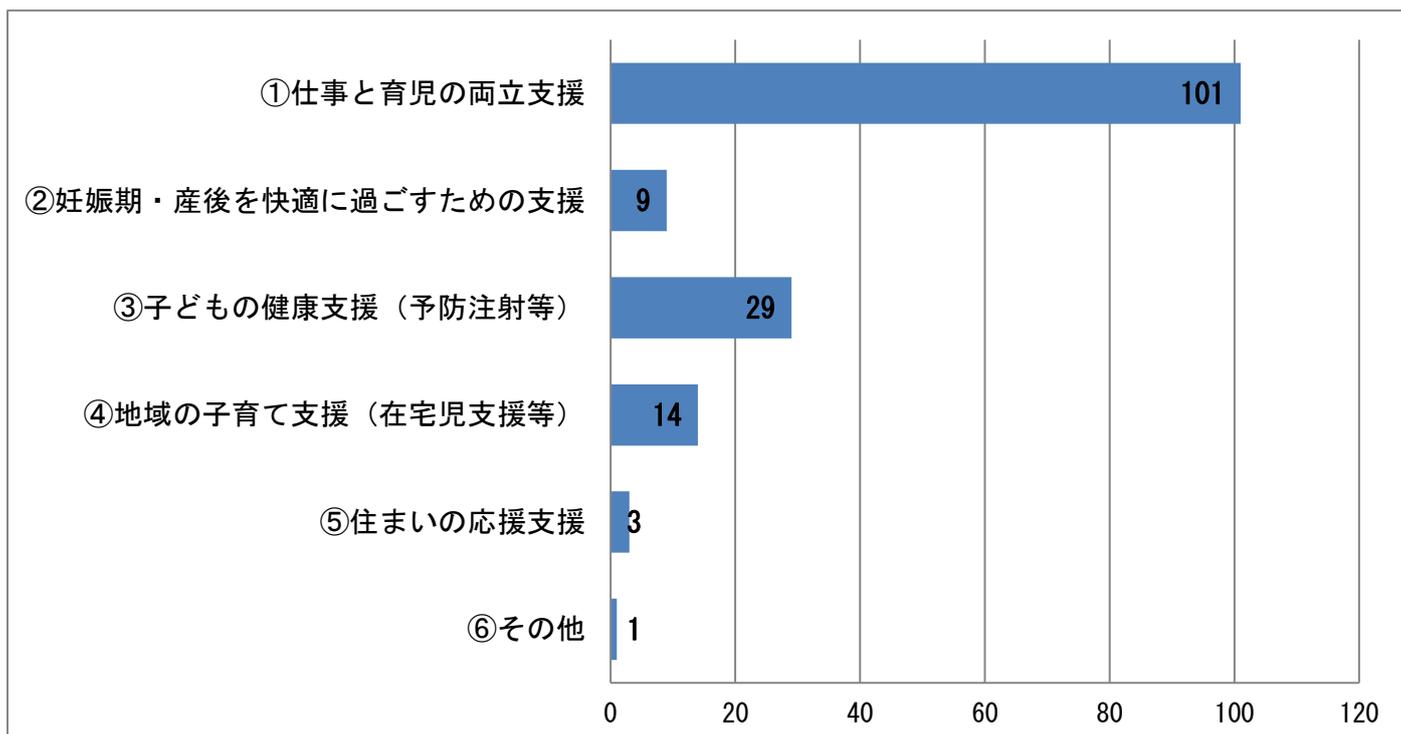


【子ども部 保育課より】

「子育て支援サービス」に関し年々認知度が高まっている。反面ご存知ない方もいるため、今後も「子育て支援サービス」の周知に努め、利用向上をめざします。

問6 今後、どのような子育て支援が必要だと思いますか？

(名)



【子ども部 保育課より】

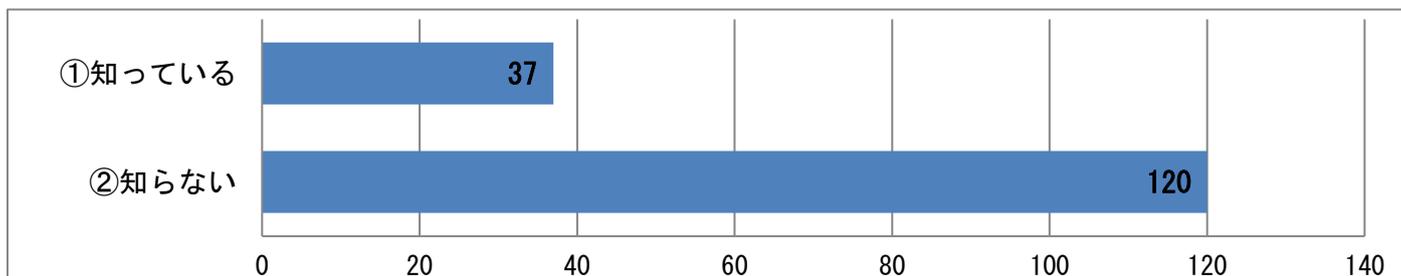
ほとんどの方の回答が「仕事と育児の両立支援」でした。今後も仕事と育児の両立支援の充実に努めていきます。

【教育について】

問7 我孫子市は各中学校区を中心に、地域全体で学校教育を支援していくことを積極的に推進していますが、ご存知ですか？

※「中学校区」とは、その中学校を進学先とする小学校を併せた学校区と位置づけます。

(名)

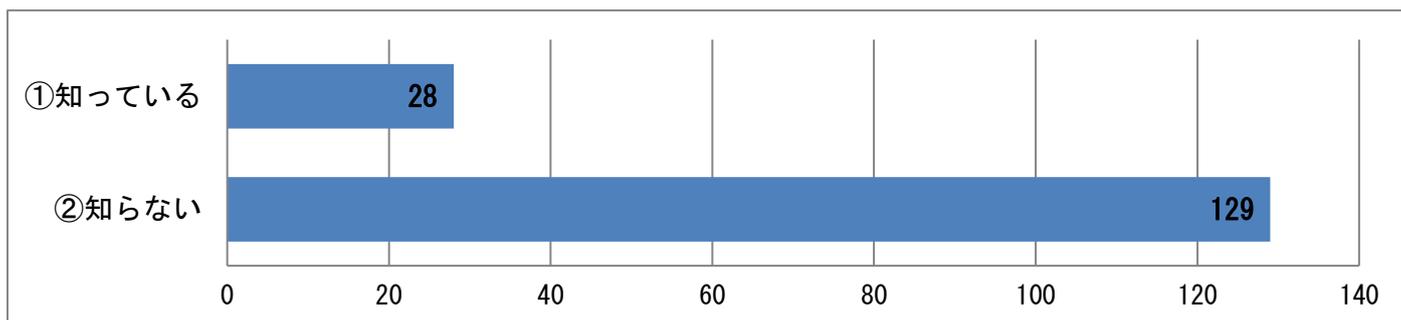


【教育委員会 指導課より】

学校・家庭・地域が連携協力して学校教育を支えるしくみづくりが進んでいますが、まだまだ地域に浸透するまでには至っていないようです。情報の提供を工夫していきます。

問8 学校には有識者、地域住民、保護者等により組織され、学校に声を反映する学校評議員委員会があることをご存知ですか？

(名)

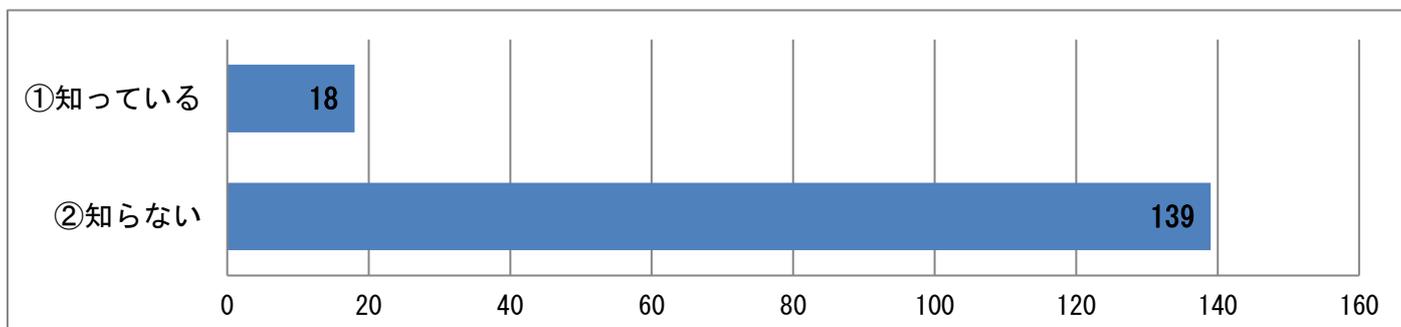


【教育委員会 指導課より】

学校評議員委員会も関係者間での制度になっているのかもしれませんが。もっと地域の多くの方の声を取り入れた会議にして、開かれた学校づくりを目指し地域との交流を図れるように考えます。

問9 学校の教育活動を支援するボランティア活動として、学校支援本部事業があることをご存知ですか？

(名)

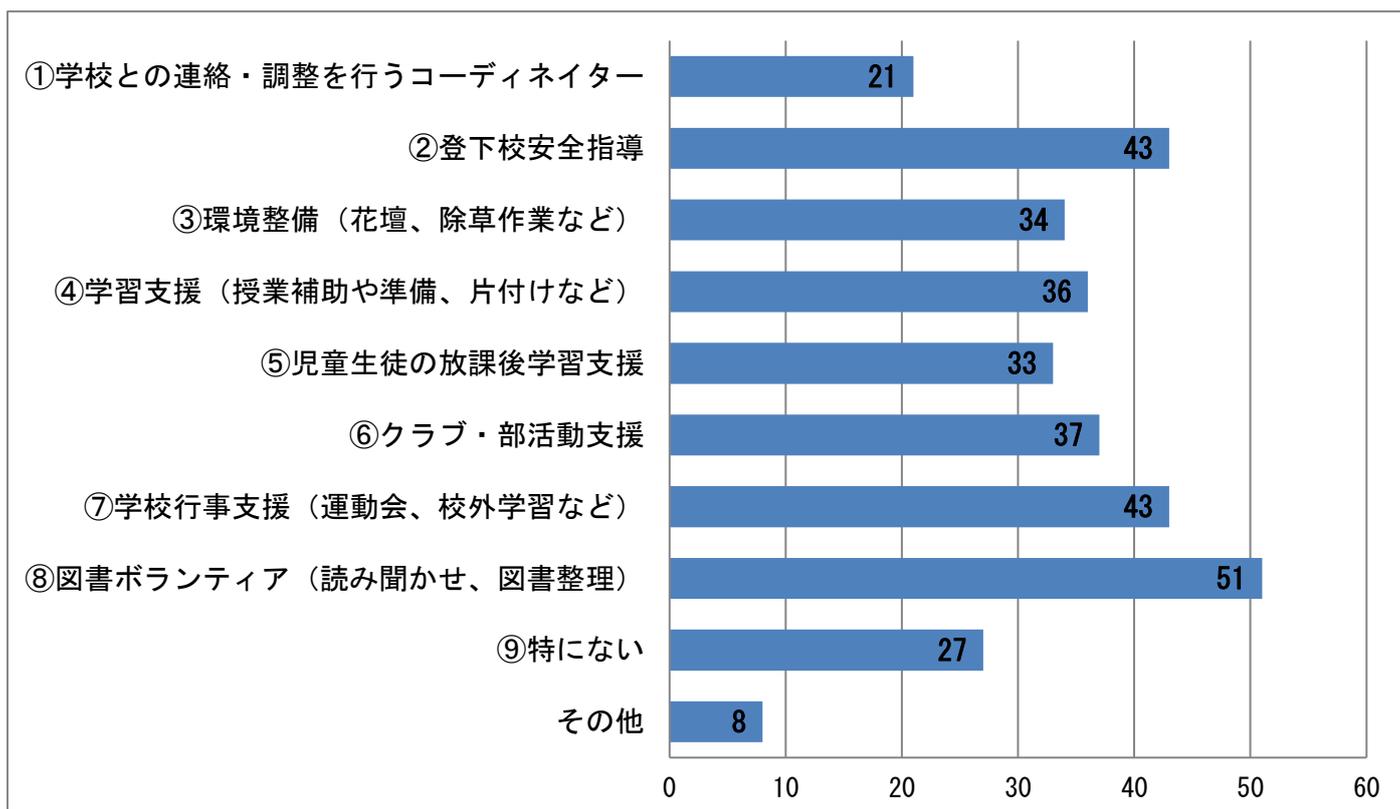


【教育委員会 指導課より】

地域でボランティア活動をされている方が多数いらっしゃると思われます。市内全小・中学校に設置されている学校支援地域本部、学校支援ボランティアもあまり知られていないようです。活動等の情報をもっと発信していきます。

問10 学校の教育活動を支援するボランティアとして、あなたが関わりたい（関わってもよい）と考えるものはどれでしょうか？（複数回答可）

（名）



【教育委員会 指導課より】

学校の教育活動を支援するボランティアに関わりたくとたくさんの方が考えられているようです。「できる時に できること」をモットーに、随時募集をしています。手続きをはじめ我孫子市ホームページなどにわかりやすい情報を提供していきます。詳しくは、下記 URL を参照してください。

http://www.city.abiko.chiba.jp/kosodate/gakko_houkago/shogaku_chugaku/os_hirase/shien_volunteer.html

【その他の意見】

仕事をしているので難しい。土日や平日夜に行えること（事務的なことなど）なら関われる

文字制限が少なすぎる！もっと文字数を増やしてほしい。まったく書ききれない

何かしらに関わりたいとは思いますが、時間的余裕がないため関われない

土日に可能なもの

興味はありますが、実際は平日働いているので、頻繁に参加するのは難しいです。

仕事を知ること

教育活動支援 1-8 の詳細が解らない。

企画段階から、本テーマには関わりたい。かつ、各種取り組みの広報・発信について、現状弱いと認識しているので、強化が必要だ。

書道関連

問 1 1 学校が地域に開かれ、支えられ、ともに歩いていくためには、どのような取り組みが必要だと思えますか？

校庭を開放したり、行事に住民を招待したりしてかかわりを持てるようにしたら学校が身近に感じられるのではないかと思います。学校に通う子供がいない家庭でも学校とかかわる機会を持つことができばうまく共存していけるのではないかなと感じます。あとは余った教室を公民館のように使うとか有効利用すると学校が身近なものに感じられるような気がします。学校に通う子供がいないとなかなか関わる機会がないのが現実だと思います

(40代 女性)

いわゆる専業主婦の母親と仕事を持っている母親では、学校行事への関連の仕方が異なるので、配慮が必要

(40代 男性)

共働き世帯への支援として、保育園の一時預かり(土日)、病後児保育を充実させてもらいたい。大抵予約でいっぱいなため。

(30代 女性)

【子ども部 保育課より】

一時預かり保育は、保育園が開園している日が実施日であることから、日曜日は実施していません。共働き世帯への支援として、保育園在籍園児等を対象に、ファミリーサポートセンターを活用した休日保育(日曜、祝日、年末年始)がご利用いただけます。

また、病後児保育は名戸ヶ谷あびこ病院「たんぽぽルーム」と平和台病院「こどもデイルームみらい」の2施設で実施しています。本年度から平和台病院で実施する「こどもデイルームみらい」では、受け入れ基準が緩和され、利用しやすくなりました。ご利用の際は直接お問い合わせください。

今もすでに行われているのかも知れませんが、例えば地域の農業、産業、企業、職人さん等、いろんな分野の方々を講師としてお招きしたり、体験させて頂いたり、そういう機会が多く持てるといいのではないかと思います。私が通っていた中学校では、養護学校との交流が盛んに行われていました。定期的に障害児者と触れ合う機会を持つことで、個々の個性として受け入れ、偏見や間違った認識等を減らすことが出来ていたように思います。

(30代 女性)

図書館を市民に開放する。

(30代 女性)

回覧板に第2小のおたよりが入っていて、学校の様子が多少わかり楽しみにしています。あびこ広報や回覧板などでまずは情報を発信することだと思います。

(60代 女性)

現在 小学校の図書整理ボランティアをしています。

図書室の環境整備、新刊図書の購入、本棚の整備等の必要性を感じています。

(60代 男性)

子供の預かり環境をもっと整えて行ってほしいです。

(30代 女性)

【子ども部 保育課より】

我孫子市保育園整備計画に沿って、計画的に整備していきます。

市ホームページ・広報等でもご案内していますが、平成28年4月には我孫子地区に定員100名の保育園、定員19名の小規模保育事業所を開園し、市内保育園等の入園枠が広がります。

<p>学校に地域の住民の意見が反映されるように学校評議員の組織を生かして固定化されたメンバーではなく色々な年代の人が評議員となって意見を出していく必要があると思う。会社経験があってリタイアした人の意見は職業意識を高めるためにも今の時代は役に立つ感じがする。また学校で開催する講演会や音楽会は回覧板やチラシで知らせて多くの人に参加できるようにすることも大事である。自治会との意見のやり取りも必要かも知れない。</p>	(60代 女性)
<p>放課後の校庭を誰が使ってもいいように開放する。その学校の雰囲気や子供たちの様子が見えていいと思う。</p>	(30代 女性)
<p>支援級に通う児童の学習面でのフォローやソーシャルスキルトレーニングなど、個別指導やグループ指導を充実させてほしいです。支援級と普通級の交流や移籍など柔軟に対応してほしいです。</p>	(40代 女性)
<p>都内に負けないよう、学校にて学力向上推進をお願いします。</p>	(50代 男性)
<p>事前入園予約などは子育て支援センターで初めて知って、他のお母さんたちも知らない方が多かったので母子手帳配布の時にもう少しいろいろ説明があったらよかったです。 広場などで行ってる育児相談はあつという間に定員になってしまうので、日数を増やすか定員を増やした方がいいな一と思いました。他の広場でも月に1回でもいいのであったら助かります。</p>	(20代 女性)
<p>【子ども部 保育課より】 平成27年度から保育コンシェルジュを設け、保育にかかわる情報発信や相談体制の充実を図りました。今後さらに、関係部署と連携し、保育に関する情報発信の充実を図っていきます。</p>	
<p>保育園の延長保育時間が19時までは郊外市なのに早すぎる。都内勤務ではとてもフルタイムで働けない。我孫子エリアにある21時までの保育園は近くに住んでいないと現実的には利用できず、仕事と両立が大変厳しい。</p>	(40代 女性)
<p>【子ども部 保育課より】 現在21時まで開園の保育園は1園ですが、20時まで開園の保育園も2園ある状況です。延長保育時間を21時まで拡大することは、保育士の確保や経費等の課題がありますが、保育の利用ニーズの動向を踏まえ、延長保育の時間延長を検討していきます。</p>	
<p>アビッコクラブがとても助かっています リタイヤされた方との交流が日常的にある仕組みがあると互いに有益と考える</p>	(40代 男性)
<p>学校と地域の連携できる情報交換の場</p>	(60代 男性)
<p>子供が卒業した後も卒園児や親と付き合いを続ける</p>	(30代 女性)
<p>積極的な情報公開。</p>	(70代 男性)
<p>文化祭やバザーなど、行事を通して、学校の開放とう</p>	(30代 女性)

<p>身内や知っている子供が通学していないと無関心になってしまう。 例えば定期的な地域活動(草取りゴミ拾いなど?)で顔見知りの子ができれば、地域の人は学校そのものに興味がわくと思う。</p> <p style="text-align: right;">(40代 女性)</p>
<p>学校・自治会・地区民児協・行政による定期的な情報交換の場を設ける。現在、幾つかの会合はあるが殆ど会議の結果が実行されていない。社会が子供を育てるという共通認識を持つこと。</p> <p style="text-align: right;">(70代 男性)</p>
<p>休日や放課後など体育館や図書館等を使ったイベント・教室の開催。例えば体操教室やダンス教室、書道教室や音楽教室、読み聞かせ会などのイベント。また、未就学児の授業体験機会・練習(30分~45分)として、机に座った状態での読み聞かせや英語体験なども嬉しい。 既に実施している学校や、アビスタでの開催もあるが、より多くの小学校で開催することによりアビスタから距離のある地域でも参加機会が増えるのではないかと。</p> <p style="text-align: right;">(30代 女性)</p>
<p>文化祭や体育祭など、一般公開をして、学校を身近に感じてもらう。</p> <p style="text-align: right;">(30代 女性)</p>
<p>定期的に市民へ運動場と遊具を開放し学校の子供らと関わりを持つ、その際に安全性を持たせるために身分証の提示、怪我等について学校は責任を持ちませんと同意書。また、子供たちを見守ってくださる先生方とお話する機会がないので、先生が得意とすること(おりがみとかあやとりなど気軽なもの)を介して交流を深めたい。</p> <p style="text-align: right;">(30代 女性)</p>
<p>学校行事への地域住民の参加など、子供がいない家庭でも学校に関わることのできる機会</p> <p style="text-align: right;">(20代 女性)</p>
<p>学校が今何を子供たちに教えているのか、どんな遊びをしているのか、遠足は、運動会とかを知るには私の年代では孫とか親戚知り合いにその子供たちが居ればよいがだれもおらずにいれば情報は皆無です。地域のそのような人に学校情報誌を配るという手もあるはず。子供たちがどんな教育を受けているかを知りたい。</p> <p style="text-align: right;">(60代 男性)</p>
<p>バザーやお祭りなど、学校に子供が通ってなくても参加できるようなイベントがあると、地域住民がもっと積極になると思う。また、第二小学校のように動物を飼ってもらえると子供を連れて行きやすくなる</p> <p style="text-align: right;">(40代 女性)</p>
<p>大人、特に定年退職された方々のより積極的な学校、地域への関わりが必要。</p> <p style="text-align: right;">(40代 男性)</p> <p>【教育委員会 指導課より】 本の読み聞かせ、授業(ミシン、木工、米作りなど)の補助などの学習支援。図書整理、花壇・除草作業、剪定、修繕などの環境整備。子供達の登下校の見守りなど、市内の全校で学校支援ボランティアとして、昨年度はのべ43, 457人の方に活動していただきました。 定年退職された方が、学校や子供達と関わりボランティアとして活躍していただけるように努めていきます。</p>
<p>地域との交流イベントを増やす。</p> <p style="text-align: right;">(40代 女性)</p>

<p>将来、小学校へ進学する未就園児や幼稚園児とその親との関わりを増やす。 バザーの案内を広場に貼ったり、交流できる機会を作ったり。</p> <p style="text-align: right;">(30代 女性)</p>
<p>色々なイベント情報。</p> <p style="text-align: right;">(50代 男性)</p>
<p>情報を公開して、地域の人々と共有する事です。</p> <p style="text-align: right;">(60代 女性)</p>
<p>各学校の学校便りを自治会の回覧板を通して見る事ができ、良いと思いますが回覧時期が残念ながら該当月末ですので月初めにさせて頂くと良いと思います。</p> <p style="text-align: right;">(60代 女性)</p>
<p>子供がいないとまったくわからないし、地元でないし関わりがないので、もっと関わり合いが出来るような、学校でイベントをすとか(バザーなどでは結局身近な人がいないと行かない)行ったことがあるなどなれば、身近に感じられるのでは。</p> <p style="text-align: right;">(30代 女性)</p>
<p>現在保護者以外の方々は学校に入ったり、中の様子を見る事が中々難しいため、子供たちがどのような生活を送っているかわかりません。 犯罪等もあるので簡単には出来ませんが、もっと周りの住民に来てもらい、生徒と関わる事が大事だと思います。 文化祭をお祭りのように外部向けに行い市民に楽しんでもらい積極的に交流させたりするなどの取り組みがあれば良いと思います。</p> <p style="text-align: right;">(30代 女性)</p>
<p>・地域行事・清掃活動・祭などへの学校の参加。現場の教師や子どもたちにも、どのようにして、地域と関わりたいのか考えてもらえれば良いと思う。 ・勉強や部活で忙し過ぎて、地域と関わる余裕がないなら、それはそれで仕方がないと思う。</p> <p style="text-align: right;">(30代 男性)</p>
<p>一緒になって何かやれるのが一番と思います。昨年の柴崎台中央公園での三小の吹奏楽部素晴らしかったです。活動を知れてよかったです。</p> <p style="text-align: right;">(30代 女性)</p>
<p>学校と地域が情報を共有し、共に関わる事ができる機会や行事が続くと良いと思う。(ゴミゼロの日や登下校時の見守りなど)</p> <p style="text-align: right;">(30代 女性)</p>
<p>地域住民を特別講師に招いて地域との交流を深めたり、地域の課題(人口減少、高齢化、放射能など)を子どもたちに解決してもらおう校外学習などを行う。</p> <p style="text-align: right;">(30代 男性)</p>
<p>地域側から学校に参加するだけでなく、学校側(教師を含む)も、地域に参加したほうが良い。</p> <p style="text-align: right;">(50代 女性)</p> <p>【教育委員会 指導課より】 学校支援地域本部事業も保護者・地域住民の方に広がり、学校は助けられています。 現在、学校が地域の方々にとって身近な存在となり、魅力あるものとなるように多くの学校で子供達や教職員が地域のお祭りやイベントに参加しています。これからもさらに交流を図り、学校や子供達のようにすを知ってもらえるように努めます。</p>

ボランティアとして地域の学校に関わることを希望したとき、いつ、どこに申し出ればよいかについての情報を、わかりやすく提供してほしいです。教員は多忙だと思うので、学校と地域をつなぐコーディネーターの役割を果たすスタッフが、各学校に配置されているとよいと思います。	(30代 女性)
学校としてはルーティンの内部秩序を重視したい気持ちもあるかもしれませんが、地域の父兄に、学校活動にかかわる何らかのボランティア参加を積極的に求めていくことが意味をもちそうです。	(60代 男性)
現状でどの学校も行事等でかなり開かれた取り組みをしていると感じている。強いて言うと、幼稚園から大学まで異校種間で連携を強化すればいいように思う。大学と高校、大学と中学などの連携で保護者も含めて交流するなど。	(30代 男性)
つくし野地域はマンションの子供たちとお年寄りのこうりゅうがあるようで、良い環境だと思う。	(60代 女性)
いつ学校を見学しても良いオープンスクールをやって欲しい。	(30代 女性)
出前授業を行う。	(30代 女性)
学生と地域住民のコミュニケーションの第一義は、普段の登下校・部活動(校外)時等での挨拶の励行と考えます。最近では学校の先生・部顧問の挨拶に対する指導・徹底があまりなされていない気がします。道ですれ違いこちらが挨拶しても、目をそらせ下を向くのは元気で健全な学生の姿ではないと思いますが・・・。	(60代 男性)
市内の希望する小学校、中学校へ進学できる体制づくりや学校施設の開放など	(70代 男性)
学校教育について、知らない事が多い。子供が関わらない家庭は学校には行かないので、地域と もっと接する機会があればいいと思います。バザーや音楽会や、一緒にゴミ拾いをする、防災訓練を生徒だけではなく地域でする。など。	(30代 女性)
子供たちを地域の目が見守ることが大切です	(60代 女性)
校内行事、部活動行事、校外学習(サマーキャンプ、スキー、観劇など)に一定の資格や能力のある地域住民を有料で参加できるようにすることで、教師、生徒、親でない大人、間の相互理解や、助け合い、生活マナーの向上が出来るのではないのでしょうか	(70代 男性)
近所の高齢者や乳幼児を招待するなど、積極的な関わりをもつ。	(30代 女性)
空き教室などを地域住民に解放。学校通信などの広報	(40代 女性)
情報公開	(40代 女性)

<p>児童が居る場合は問題ないので、在学していなくても学校情報を開示するシステム、制度。ホームページだけでは片寄るので、それ以外で簡単に入手出来る方法。 地域と共に進める行事やイベント等。</p>	(40代 女性)
<p>スムーズに連絡を取り合えるシステムがあるとよい。在学していなくても情報がつかめ、協力してほしい内容がわかるようにしてほしい。</p>	(40代 女性)
<p>今小学校では何を教えているのか、どこに遠足(社会科見学等)に行くのか、運動会は文化祭はいつなにをやるのかなど近隣の人たちに配布する小中学校新聞的なものの配布。</p>	(60代 男性)
<p>町探検や職業体験などの取り組みなど</p>	(30代 女性)
<p>学校の教育者(先生)や市の教育委員、父兄が自ら現状の問題点を探り市や地域の住民から如何なる支援、協力を必要とするのか、先づ考え、提案すべきである。学校はその生徒、父兄、教育者が日常的な基本教育の中、点数評価を最重要視でなく(道徳心)や他人への思い遣りの心を育む強い人間づくりが必要、いじめを絶滅し明るい学校にし、 学校の施設等休校日に市民に開放する。</p>	(70代 男性)
<p>学校と地域自治会との定期的な連絡会議を開いて欲しい。 自転車の危険な乗り方・公園等でのゴミ・空き缶等散乱している。</p>	(70代 男性)
<p>声かけ運動など</p>	(40代 男性)
<p>保護者だけでなく地域と学校が連携した見守り体制の確立。</p>	(60代 男性)
<p>PTA 活動の見直し。仕事との兼ね合いを考えてほしい。半強制みたいな形は勘弁してほしい</p>	(30代 男性)
<p>回覧板などで地域の学校の情報は知らされているので、十分だと思います。</p>	(30代 女性)
<p>防犯の観点からも、昼間も我孫子にいるお年寄りと小学生とのふれあい。 教育面では企業との関わりを積極的にすることだと思います。</p>	(30代 女性)
<p>地域住民との交流</p>	(60代 男性)
<p>広い年齢層でのイベントの実施</p>	(30代 女性)
<p>一律学習を少なくし、子供が自由選択出来る授業体制にし、子供達が地域の為にしてみたいことを積極的に授業としてさせる。</p>	(30代 女性)

<p>息子は、昆虫クラブに入っており、学校の先生以外の地域の方々にお世話になりながら知識を深め、とても楽しそうです。そのつながりで、家族で船戸の森の清掃に参加したり、楽しみが増えました。</p> <p>学校側からは特に地域に開かれる必要はないと思います（危険も伴うので）。自然なつながりで地域と関わっていければ、それで良いと思います。</p> <p style="text-align: right;">（４０代 女性）</p>
<p>学校・教育関係者が、市場感・現場ニーズを如何に掴むかが前提でになるだろう。公務員や教育委員会の発想のみでは、円滑に事業運営できないのは、他分野を見渡しても自明の理であることは、異論ないと思われる。かつ、保護者サイドも権利主張だけではなく、現実や義務も応分負担しながら、あるべき姿を描く必要があると考える。</p> <p style="text-align: right;">（３０代 男性）</p>
<p>地域住民とのふれあい、交流。夜間学校など学びや意見交流の場。</p> <p style="text-align: right;">（４０代 男性）</p>
<p>幼稚園、保育園、シニアの方との交流。また、職場体験なども中学で１度ではなく、３年間に三回経験すると色々な職業を知れると思います。</p> <p>子ども会も もっと地域と触れあえるとよいと思います。</p> <p style="text-align: right;">（３０代 女性）</p>
<p>学校と自治体とで協力して地域の活動を行う。</p> <p style="text-align: right;">（３０代 女性）</p>
<p>学校行事等に於いて、保護者あるいは PTA のみならず、近隣住民もしくはボランティアの人達が、積極的に参加・活動出来る行事があれば良いと思います。（既にあるかも知れませんが）私も参加してみたいのですが、その辺りの情報がよく分かりません。</p> <p style="text-align: right;">（５０代 男性）</p>
<p>いじめはまだ後を絶ちません。家庭、学校、地域が一体となって子どもに寄り添う環境を考えましょう。</p> <p style="text-align: right;">（６０代 女性）</p> <p>【教育委員会 指導課より】</p> <p>市の教育の施策、重点項目の一つに「地域に根ざした教育の充実」が謳われています。地域全体で学校教育を支援するしくみづくりを推進し「子どもたちの豊かな学びや育ち」を実現していくために学校支援地域本部事業を立ち上げました。</p> <p>今、教職員の８割以上が「学校地域が一体となって子供を育てる必要を感じている」と考えています。いじめの問題をはじめ、学校が抱える課題は山積しています。保護者地域の方が、この事業を理解し子供達のために一緒に推進していけるように努めます。</p>
<p>いままでも、そうかと思いますが、地域の皆さんが協力して、オープンで交流しやすい環境でありたいです。</p> <p style="text-align: right;">（５０代 女性）</p>
<p>子供がいない人でも授業参観に参加できると身近に感じます。小中学校の教員の方とのコミュニケーションの場もより広げていただけると理解が深まります。学校が一部の人のものではなく、地域の「財産」だと考えられれば楽しくなりますね。期待しています。</p> <p style="text-align: right;">（５０代 女性）</p>

<p>現状の詳細は知りませんが、夜間学校のように大人も勉強できるようになったらいいです。年配者にも勉強したい人教えたい人、いろいろいると想像します。施設を開放するだけでなく、もっと中身も自由に開放して欲しいです。</p> <p style="text-align: right;">(50代 男性)</p>
<p>私の学力不足かもしれませんが、学校が地域に開かれるという意味がよくわかりません。地域に開かれるというのは、誰でも自由に学校に出入りする事が出来るという事でしょうか。もしそうならば、学校は安全な場所ではなくなってしまう気がします。共に歩んで行く事よりも、子供がいる私としては子供たちの安全を第一に考えていただきたいと思います。</p> <p style="text-align: right;">(20代 女性)</p>
<p>学校でのボランティア内容など 担当の教員の移動時に 引き継ぎが 充分に行われていない。やはり 継続して積み重ねてこそ より成果が上がると思います。</p> <p style="text-align: right;">(60代 女性)</p>
<p>学校の近くに住んでいて、何か協力したいと思いますが、初めのコンタクトの方法が難しいと思います。きっかけがあると協力しやすいので、学校から声をかけたり、掲示したりすると協力しやすいと思います。</p> <p style="text-align: right;">(30代 女性)</p>
<p>いじめなど目に見えないものに対して第三者的な立場で気軽に相談できる施設や人が必要</p> <p style="text-align: right;">(30代 女性)</p>

問12 子育て支援、学校教育、その他市政に対するご意見やご感想がありましたらご自由に記入してください。

本アンケートの設問は、統計学に基づいたアンケートの作成技術を取り入れているか疑問。一つだけ選ぶのが困難な選択肢が多い。

(40代 女性)

除染等で撤去された、公園の遊具を戻してほしいです。

(30代 女性)

来年小学校の子供がいるが、PTA や役員などは専業主婦であることが前提のような仕組みであり、仕事を持つ私としては協力したくても難しく、できることが限られており、またそれが専業主婦の方々からは理解が得られないのではという不安があります。朝の旗持ちなど、シルバー人材センターにお願いできないのですか？

(40代 女性)

保育園は朝7時から延長保育、学童は7時45分からです。保育園から学童に替わっても、仕事時間は変わりません。時間の検討をして欲しい。

(50代 男性)

【子ども部 子ども支援課 回答】

ご不便をおかけし申し訳ございません。

平成27年度から、保護者からの利用希望がもっとも多かった、4月1日から入学式前日までの間、全学童保育室にて7時30分から開室しています。なお、民間委託している四小学童保育室では、年間を通じて7時30分から開室しています。(土曜日除く)

こども発達センターに親子で通園しています。仕事をしながらの通園の為、色々な面で負担がかかります。他の市ではバスからの分離があるそうなので我孫子市でもそうしてもらえたら子供も学校に向けてバス通学の練習になりますし親の負担も少なくなります。御検討、よろしく願います。

(30代 女性)

【子ども部 子ども相談課(こども発達センター) 回答】

現在、こども発達センターでは親子通園を基本としています。理由の一つとして、保護者の方にも療育の仕方を学んでいただきたいためです。バス停での分離を望んでいることも承知しています。

かねてから検討してきた結果、平成28年度から年長のお子様については、希望によりバス停での分離通園を行う予定です。これは、就学に向けての訓練の一つと考え実施するもので、年中、年少のお子様については、今後の検討課題として捉えていきます。

子育て支援の補助金基準が厳しいように思います。若い世代ほど収入が少なく、尚且つ子供が複数居て、戸建てをローンで。と言う場合とても苦しいです。

子供をもっと産みたいけれど、金銭的な問題だけで産むことを断念しています。

ぜひ、少子化の対策として市でも複数の子供を産む場合支援をしていただけると助かります。

(20代 女性)

もう少し遊具が多い公園が増えるといいなと思っています。

(20代 女性)

若い世代が増えている新木周辺に、商業施設の誘致を実施して欲しい。現状では車がなければ不便な土地であり、高齢化に対する備えが少ない。

(30代 男性)

一時預かりを利用したいが、なかなか空きがなく利用出来ないので、もう少し受け入れの枠を広げて欲しい。

(30代 女性)

【子ども部 保育課 回答】

ご不便をおかけし申し訳ございません。一時預かり保育は、現在7園で実施していますが、来年度は、休止している園が事業を再開する予定ですので、受け入れ枠が広がると考えられます。

現在市ホームページで一時預かり利用可能状況等(二週間ごとに更新)を掲載していますが、急遽利用キャンセル等で受け入れ可能となる日もありますので、ご利用の場合は園にお問い合わせください。

インフルエンザの助成をきっかけに今年は受けることにしました。所得に関係なく全部の子供に助成してもらえると助かります。

(40代 女性)

【健康福祉部 健康づくり支援課 回答】

小児のインフルエンザ予防接種費用助成は、県内初の事業として、平成26年度より1回1,000円の助成で開始し、平成27年度は、1回1,500円に増額して助成を行っています。助成の対象者には所得制限はなく、生後6か月から小学校6年生までを対象としています。インフルエンザは小学生から流行すると言われており、対象者の拡大については、現在の助成事業を継続しながら本市の流行状況等をみて検討していきます。

市会議員のさらなる削減。

(60代 男性)

子供がまだ未就学児なので学校教育についてはよくわかりませんが…。我孫子市内に、夜間でも診てもらえる小児科専門の病院が無いように思います。万が一の場合は、どこに連れて行けばいいのか、と考えてしまいます。後は、保育園料も結構高いなあと思いました。公立と私立が同額なのはありがたいですが。

(30代 女性)

教職者は、現在起きているあらゆる問題点に、よく耳を傾け、情報を収集し、解決策を話し合い素早い対応を急ぐべきです。

(50代 男性)

学区内住民が、学童の成長を見守るべく、余暇をもて余すお年寄りが、学童と一緒にイベント参加。既に近隣センターイベントがあるが、もっと幅広く参加を増やすべく、何か一緒に盛り上がる事はないか?花の町作り、市内各地区にお神輿祭の伝統か!等、等、後生に残せるイベント!

(60代 男性)

にこにこ広場・すくすく広場等を利用するために駐車料金がかかるのが少し負担でした。しかし、時にスタッフの方に相談にのっていただいたりして、本当に助かりました。

(40代 女性)

【子ども部 保育課 回答】

にこにこ、すくすく、わくわく広場は、独自の駐車場がないためご不便をおかけしていますが、多くの方にご利用をいただき、子育てに役立ててもらい感謝しています。これからも皆さんの役に立つ広場になるようスタッフ一同努力していきます。

<p>学校教育は各学校の教育目標とか具体的な施策を広報で知らせてほしい。今の子供たちが学校で何に興味を持ち毎日過ごしているのかを知る手がかりとなる。そして学校側で地域にお願いしたいこと等教えてくれると協力の具体性が出て良いと思う。</p> <p>又教育委員とかは何をしているのか分からないので活動が知りたい。</p> <p style="text-align: right;">(60代 女性)</p> <p>【教育委員会 総務課 回答】</p> <p>教育委員は、毎月の定例教育委員会における議案等の審議のほか、公式行事への参加、学校の視察など、様々な活動を行っています。教育委員の活動の詳細については、市ホームページ「教育委員の活動報告」のページをご覧ください。</p>
<p>歩道が狭く、段差が多いため、ベビーカーが不便。</p> <p>自転車走行も車道や歩道が狭いため、走行しづらい。危険に感じる。特に 356 号沿いで思います。</p> <p style="text-align: right;">(40代 女性)</p>
<p>取手のウェルネスセンターの遊戯室が広くてキレイで設備も遊具も素晴らしかった。料金も安すぎると思うほど。我孫子にもああいうのがあればいいと思う。</p> <p style="text-align: right;">(30代 女性)</p>
<p>知識を記憶するだけの教育だけではなく、コミュニケーションや資金運用及び社会性を養う取り組みが必要かと思います。</p> <p style="text-align: right;">(40代 男性)</p>
<p>学校をもっと地域に解放してその地域の中心的存在に学校がある必要があります。不審者対策も必要だと思いますが、日中、近所のお年寄りが集う場所やお母さん達が集まる場所と併設してもよいかと。</p> <p style="text-align: right;">(30代 男性)</p>
<p>北地区に乳幼児や児童の集まれる場（広場）を地域の空き店舗を活用して整備して欲しい。</p> <p style="text-align: right;">(60代 男性)</p>
<p>下水が通っていない地域に下水を通してほしい</p> <p style="text-align: right;">(30代 女性)</p>
<p>P T A関係者だけではなく、おじさん おばさん 等 幅ひろくお知恵、労力をお借りしてもよいのではないかと。</p> <p style="text-align: right;">(70代 男性)</p>
<p>保育園や学童の子供を、ニコニコ広場でお迎え出来る、駅前子供ステーションみたいなものを作って欲しい。</p> <p>民間でもいいので、塾や学習機能がある子供の放課後を安心して過ごせる場を駅前につくって頂きたい。</p> <p style="text-align: right;">(30代 女性)</p> <p>【子ども部 子ども支援課 回答】</p> <p>市内小学校13校に放課後子供教室として「あびっ子クラブ」の設置を進めています。現在10校に設置済みで、平成28年度に1校設置する予定です。平成31年度までには全校に設置する予定です。現在、市としてお子さまの登室等を考慮し、ステーション等を駅前に設置する予定はありません。</p>

子育て支援や学校教育で、行政がきめ細かく手を差し伸べるのは勿論結構なことである。ただし、今後の問題として「子どもの貧困」が大きな課題になることが予測されており、その対応策を行政は考えておく必要があると思われる。

(70代 男性)

我孫子市は坂が多いが、唯一どこの駅に通じる坂のない道路の356号線の歩道があれば、危なくて子どもはもちろん、大人も通れない。

(40代 女性)

育休明けの入園予約は、第一子が保育園に入ってから初めて知りました。産院への案内掲載や、母子手帳交付時に一緒に案内を配付するなどしてもらえると、もっと違ったように思います。

(30代 女性)

【子ども部 保育課 回答】

現在母子手帳交付時に「我孫子市子育てガイドブック」を配布し、産休・育休明け予約入園など各種保育サービスのご案内をしています。更に周知できるよう方法を検討していきます。

一時保育が、登録したものの全く預かって貰えず、何の意味もない。

(30代 女性)

【子ども部 保育課 回答】

登録有難うございます。一時預かりは、その日預かれる人数等が各園で異なりますので、預ける日程が決まっている場合、登録園に早めのご予約をお勧めします。また、現在ホームページにて2週間ごとに各園の空き状況が確認できますので、ご活用ください。

子供の医療費助成制度はありがたいのですが、二百円でなく、無料の地域（都内など）もあるので、我孫子市もそうだといいなと単純に思います。また、市外で受診した場合の助成の仕組みも分かりにくいと思います。

(30代 女性)

重度の食物アレルギーの幼稚園に通っている子供がいます。みなと一緒に食べるのは危険と判断されお昼前で帰ってきています。そこで、アレルギーの知識がある方を育てて子供らを見守ってほしい。

食べ物を扱わない短時間の保育場が欲しい。(過去に保育園の一時預かりはアレルギーが重度なので断られました。)

小児科の救急外来が我孫子市に欲しいです。

駅のホームにエレベーター設置を希望

(30代 女性)

【子ども部 保育課 回答】

市内私立幼稚園の昼食については、各園の教育方針等によりお弁当持参や外部搬入による給食提供などを実施しており、アレルギーについての考え方や対応も園ごとに異なる状況です。一時預かり事業についても実施している保育園により対応は異なりますが、利用前の面談時に園に相談いただくと、基本的には医師の診断書により、アレルギー除去食での給食提供やお弁当持参又は、半日預かり等利用方法を調整するなかでご利用いただくこととしています。

私立保育園に関する情報を市役所に問い合わせてもほとんど情報がなく、各自問い合わせるよう伝えられる。先日は2人目の育児休業中の場合の退園等の有無について聞いたが、何も教えてもらえなかった。せめて過去に問い合わせのあった事項については整理して情報収集してもらえないか。

(20代 女性)

【子ども部 保育課 回答】

私立保育園の保育・教育内容については、各園特色があることから入園希望園に直接お問い合わせいただくことを基本としています。ただし、育児休業中の入園・退園等制度的なことについては、保育課でお答えすべきことであり、この度の問い合わせの行き違いについては深くお詫びいたします。

我孫子市に公園が多いが、とても汚い。ゴミが多く、砂場も汚れている。特にトイレも汚いので、子供をトイレに連れて行くのには抵抗がある。

子育て支援も大事だが、不妊治療に関わる助成金をもっと充実させると子供も増えるし、我孫子市に住みたいと思ってもらえると思う。

(40代 女性)

【健康福祉部 健康づくり支援課 回答】

平成25年度より、千葉県特定不妊治療費助成事業の交付決定を受けた方に対し、市独自事業として、さらに5万円を上限に特定不妊治療の費用の一部を助成する我孫子市特定不妊治療費助成事業を実施しています。

土曜日に学校行事があった場合、翌月曜が振替休業日になることが多いですが、翌金曜日にしてもらえると、三連休になり家庭で休暇の計画が立て易くなるので嬉しいです。

(30代 女性)

子育てには金銭面の支援も必要だが、最低限義務教育の勉強について行ける学習法を身に付けさせるには専門家の援助が欠かせないと思う。

(40代 男性)

保育園の一時預りの枠を増やして下さい。

(40代 女性)

【子ども部 保育課 回答】

一時預かり実施園の拡大に努めます。

横断歩道の塗装がはがれていることもあってか先日、通学路にもなっている湖北台のスクランブル交差点でスクランブル交差点だと知らないのか歩行者の信号が青で渡ろうとした時、車が赤信号にも関わらず2台続いて右折して行き、危うく事故にあうところでした。交通指導をすれば、横断歩道の塗装を塗り直すとか、スクランブル交差点だと分かりやすくするとかどうかしてほしい

(20代 女性)

【市民生活部 市民安全課 回答】

ご指摘の横断歩道の舗装について、我孫子警察署と協議しました。すでに交番を通じて同様の要望があるとのことでした。

今回の要望についても、市から我孫子警察署に伝えたところ、対応していくとの回答を得ました。

わかりやすい行政機関の場所を設置して頂きます。

(50代 男性)

道徳教育を充実させて、人間としての基本を学ばせていただきたいと考えています。

(60代 女性)

病児保育の手続きをもう少し使い勝手が良いようにして頂きたい。

(60代 女性)

【子ども部 保育課 回答】

子どもは病状が急変することもあり、お預かりしたお子様の命を守るために、初めてのご利用では、きめ細かい健康状況の把握が必要です。初日ご利用にあたっては手続き等で大変ご面倒をお掛けしますが、2日目のご利用からは、手続きも最小限となりますのでご理解ください。

公園などにもっと遊具が欲しい。群馬のこどもの国みたいな無料で遊べる子供の施設が欲しい。

(30代 女性)

仕事を妊娠中に続けることが出来る職種では無かったため、退職してしまいました。

出産後、正社員や契約社員での再就職は子供の体調不良などを考えると休みがちになったり、ご迷惑をかけると思うと踏み切れず。パートで働くにも保育園に預けたら、保育料にほとんど持っていかれてしまう状況で中々厳しいです。正社員以外で子育てしながら働ける環境を作っていただけると助かります。

(30代 女性)

手賀沼公園の遊具付近に、犬の糞が落ちてる時があるので、飼主のマナー向上を呼びかけてもらえるとありがたいです。回収ビニール袋忘れた飼主に袋を渡すのもやむなしと思います。

(30代 男性)

我が子は保育園児ですが、学童が心配です。学童の見学、説明会等希望します。また、一度利用しましたが、保育コンシェルジュは必要ない気がします。一時預かり保育の利用枠が少なすぎます。

(30代 女性)

【子ども部 子ども支援課 回答】

学童の見学については、開室時間である平日13時から19時の間で自由に見学できます。見学を希望する場合は、子ども支援課にご連絡ください。

また、説明会については、毎年、新1年生の入室者を対象に3月に行っています。

【子ども部 保育課 回答】

一時預かり事業については、利用しやすい事業となるよう実施園の拡大に努めます。

妊娠中や子育て中の親の意見を反映する場が少ない。特に仕事をしているママは時間も無く、意見を述べる機会も無い。アンケートなどの受動的な意見抽出だけではなく、市の職員が保育園や子育て支援施設(広場)で積極的に親に意見を聞いてほしい。

(30代 男性)

【子ども部 保育課 回答】

支援施設(広場)は全て公立ですので、スタッフも市職員です。遠慮なくご意見等申し出てください。また、保育園等については公私の別はありませんが、定期的に園長会議等を実施し、意見交換の場をもっていますので、保護者の皆さんの意見も反映できます。各園に直接お申し出ください。

地域に関心の無い若い世代や、高齢で地域の参加が難しくなってきた世代が、どうしたら一緒に地域に参加できるようになるかを市政も一緒に取り組んでほしい。

(50代 女性)

【健康福祉部 高齢者支援課 回答】

高齢者の地域参加を促進するため、「遊ぶ」「学ぶ」「働く」をキーワードに、地域にある資源の紹介をする高齢者向け情報冊子を作成しています。年度内に行政サービスセンターなど行政機関の窓口を設置する予定ですのでご覧ください。

選挙の投票で学校に行った際、建物の老朽化が気になりました。安全面で問題なければ贅沢は言えないかもしれませんが、もっと快適さを追求したりリノベーションも必要だと思いました。

(30代 女性)

育児しながら働きたいというニーズがくまなく満たされることをゴールに地道な努力を積み重ねていただきたいと思います。

(60代 男性)

最近生活の中で気づいたがごみのカレンダーが非常に見やすく役に立っている。しっかりした作りで、今後もこのカレンダーをメインに利用しリビングに置くつもりだが、予定を書き込むスペースがない。スペースに限界があるかと思うが、できることならスペースあり、スペースなしなどいくつかのパターンのカレンダーが選べると嬉しく思う。私個人はスペースが欲しいと感じている

(30代 男性)

【環境経済部 クリーンセンター 回答】

お褒めのコメントを有難うございます。あびこクリーンカレンダーは、ごみと資源の収集日程と分別や排出方法を記載したもので、6つの収集地区ごとに作成しております。スペースありなしの作成は予定しておりませんが、今後とも見やすいカレンダーづくりに努力してまいります。

子育てには良い環境と言われる我孫子市だが保育園の環境(建物)を綺麗にして欲しい。兄弟で違う保育園通いをする家庭がある、大変だと思う。布佐地域では保育園が遠い場合がある。遊びに来る支援広場の駐車料金を少し負担して欲しい。手賀沼公園の中にあればもっとよいかな

(60代 女性)

【子ども部 保育課 回答】

保育園によっては、かなり老朽化した施設もあることから、計画的に改修工事を進め、安全・安心の保育環境が保てるようにしています。また園の入園状況によりごく稀に、一時期兄弟が別々の園に通うケースも生じますが、できるだけ早く同じ園に通えるように配慮しています。

幼稚園での預かり保育をもっと長くして欲しい。でないと、仕事に復旧できません。それでは、子供は一人で良いと思います。でないと、資金が足りません、共働きでないと。後、ハロウワークへ登録しましたが、夜勤や土日の通勤のみがパートの条件しかありません。それでは、日本は少子化問題が解決できません、個人的には、2人目は埋めません、土日や夜勤しながらの子育ては不可です。パートを平日の9時から16時までが理想ですね。

(40代 女性)

【子ども部 保育課 回答】

幼稚園預かり保育の実施形態は、(開設日や実施時間)は、各園の方針等もあり異なりますので、入園前に希望する園に実施形態をご確認いただくことをおすすめいたします。また就労形態によっては、保育園への入園等も視野に入れ、ニーズに合わせ園を選択して頂くことをおすすめします。

図書館職員が出張授業を行う。	(30代 女性)
手賀沼護岸の除草場所について（一考依頼）①滝下広場先の3.5kポストの遊歩道と土手道の分岐点部分の除草が中途半端で残草が有る為、今年は幼稚園・保育園児の土手滑りが不可能になっている。②我孫子高校ト礼から漁協にかけての土手部分は毎年冬鳥が多く集まる場所であるが、ここ数年除草対象外の地域のように冬鳥があまり寄り付いていない。	(60代 男性)
生活保護世帯以外の子育て家庭への経済的支援（保育園の保育料の負担軽減、子供の医療費を15歳まで無料化等）を希望します。	(70代 男性)
小学校の定員過多をなんとかしてほしいです。学区外になり行きたい学校に行けない。選択を増やしてほしいです。ウチの家庭は共働きで祖母にお願いすることが多々あります。祖母の近くの小学校に入れたいです。それ程遠くないし、もっと遠いところの人は人数調整で学区内になっていて納得いかない。	(30代 女性)
病児のサポートがなかなか足りていない	(60代 女性)
【子ども部 保育課 回答】 病児保育施設は、名戸ヶ谷あびこ病院のみの実施ですが、ファミリーサポートセンター事業においても病児のお子さんのお宅に伺い保育する病児保育を実施していますのでご利用下さい。	
貧困にある子供の学業教育にさらなる支援をして欲しい。子供の現在だけでなく、進学を資金的に支え、就業まで、その子の貧困の輪が次世代に続かないように本格的な考えで支援して欲しい。	(70代 男性)
予防接種の助成金を増やしたり、海外との姉妹都市協定を結んで異文化交流を図るなどして頂きたい。	(30代 女性)
【健康福祉部 健康づくり支援課 回答】 平成26年10月、水痘予防接種が定期予防接種となり、無料で接種できる体制を整備しました。また、平成26年度から小児インフルエンザ予防接種費用助成を県内初めて導入、平成27年度からはロタウイルスワクチン予防接種費用助成を実施し、徐々に助成対象を増やしています。	
JR 我孫子駅へホームエレベーター設置を推進してもらいたい。	(40代 女性)
【建設部 交通課 回答】 我孫子駅のホームエレベーター設置については、当駅を管轄するJR東日本東京支社に要望しているところです。現時点において、JR東日本東京支社から具体的な計画等は示されていませんが、今後も粘り強く要望を続けていきます。	
市営住宅やURの空き部屋などを活用し新ファミリーの誘致を行う。市が率先してPRを担ってもらいたい。	(60代 男性)

我孫子市の幼稚園が全部、私立で入園料が必要だったり、毎月の教育費が高過ぎだったりで幼稚園に入れるだけでも大変です。後で返って来ますが先に払わないとダメなのは厳しいです。もう少し考えて欲しいと思います。(30代 女性)

【子ども部 保育課 回答】

私立幼稚園の就園奨励費補助金は、幼稚園に在籍する園児の保護者の経済的負担を軽減し、幼稚園教育の一層の振興を図るため、私立幼稚園の入園料・保育料の一部を助成する制度であり、毎年度2月頃に保護者の方に支給しています。なお、補助金の支払い時期については、我孫子市に10月1日現在在住していることを基準とし、その後在住の確認や対象者世帯の市民税所得割等確認及び幼稚園に支払った入園料と保育料(年間)の見込み額と差額確認など事務手続きを進める必要があることから支払いが2月末になります。ご理解ください。

我孫子市も人口減少と少子高齢化が進んでいるのではないかとと思われる。経済面や街の活力も徐々に失われて行く。先づ人口増加の基本は若い住民に対しての子育て支援の環境改善と強化、企業誘致、我孫子市の魅力の創生により他県(他市)よりの移住者を呼び込む。

(70代 男性)

防災無線の利活用。痴漢情報・窃盗事件など行方不明者の情報と同等にして放送して欲しい。

(70代 男性)

収入に応じた補助を拡大してもらいたい。

(30代 男性)

小学校の校庭を日曜日など開放してほしい。日曜日は公園が人で溢れかえっており、人と遊具のバランスが取れていないので小学校の遊具で遊ばせてもらえると助かります。もし既に開放されているのであれば、もっと宣伝なり校門にポスターを貼るなどして知らせたいです。

(30代 女性)

産院が少ないので、子育て支援の前にいい産院を増やして欲しい。

(30代 女性)

【健康福祉部 健康づくり支援課 回答】

産後2か月未満の母子を対象に、産後の休養の機会や不安解消、育児技術の取得を支援するため、平成27年度から産後ケア事業を開始しました。この事業は、産院等への宿泊や通所により、助産師等が支援を行います。市内の産院ほか、近隣市にも契約機関を整備しています。産後2か月以内の母子が対象となります。

子育て支援は、核家族化が進んだ現在はお母さん方の相談相手が地域地域にきめ細かくいることが、しかも優しい女性が必要だ。

(60代 男性)

【子ども部 保育課 回答】

市でも同様に考え、平成22年度から「子育てサポーター養成講座」を開催し、地域で子育て支援にかかわる人材の育成に力を入れています。在宅児支援として、市認定の子育てサポーターが、訪問を希望されたご家庭に、さまざまな情報紙や保育サービスをご案内する「子育て応援隊」を実施しています。また今年度から保育経験や広場経験のある職員等が「保育コンシェルジュ」として保育課、子育て支援センターにこにこ広場に配置され、育児に対する相談にも応じています。

【子ども部 子ども相談課 回答】

子ども相談課では、子どもに関するあらゆる相談や児童虐待等の相談を受け付けています。必要により家庭訪問を実施するなど、子育て不安の解消に努めています。また、お住まいの地域を担当する児童委員をご紹介します。お困りの方にご紹介ください。

子育ての医療費助成を 200 円から無料へ。保育料の負担をさらに軽減する

(30代 女性)

【子ども部 保育課 回答】

市では、保育園等の保育料については、17年間値上げせず、今回の新制度施行に伴う保育料改正にあたって、現状を維持できるよう料金設定に努めてきたところです。今年度から0歳児から5歳児までの範囲において、保育園、幼稚園、認定こども園、特定地域型保育事業を同時に利用する同一世帯の最年長の子どもから順に、2人目の保育料はほぼ半額、3人目は0円としていますが、今後は、国の動向にあわせ年齢の範囲の拡大等を検討していきます。

小児科の診察時間をもう少し遅くまで延ばして欲しい。今は16:30受付終了の所がほとんどですが、18:30くらいまで診察していただけると、助かります。救急ではないけれど、診てもらいたい、と思うことは割と多いです。働いていると、平日小児科に行くのは相当早く早退しなければならず、負担が大きいです。

(40代 女性)

高学年になると学童を辞めてしまい、根戸っ子クラブなどはあるが参加してないのが現実。家庭の諸事情や習い事があるのはわかりますが、体験する機会を与え、活字だけで促すのではなく、学校の魅力や地域とのふれあう機会を促進する枠組みを構築した方が良いと感じます。

(40代 男性)

我孫子市は本当に他にはない素晴らしい市だと思います！これからも子育て世代が住みやすい地域作りをお願いします。子育て支援センターのおかげで育児を頑張っています！感謝です！
けやきプラザに子連れで弁当持ちで食べられるスペースが出来たら有り難いです！
アビスタ図書館の子どもスペースも助かっていますが柏市の子ども図書館の様な施設も出来たら嬉しいです！

(30代 女性)

【子ども部 保育課 回答】

子育て支援センターを有効に活用いただき、有難うございます。

これからも子育て世代が住みやすい魅力あるまちづくりに努めていきます。

我孫子市に引っ越しして、約1年半が過ぎました。

未だに我孫子市の事を十分理解出来ていませんが、近隣住民との関わりが薄い様に感じられます。

学校行事もそうですが、もっと色々な行事に積極的に参加出来る環境を希望します。

(50代 男性)

発達障害に関して専門医の充実を希望します。

(50代 女性)

少子化が深刻ですが、その対策を経済的支援面ばかりにおくのではなく、子育てを終えた方から「子育ての楽しさ」を聞ける機会を広げるのは如何ですか？子供ができると、子供と一緒に頑張って勉強するチャンスに恵まれます。それはとても有り難いことに気づきます。

(50代 女性)

逆に、学校教育で一番大事なことは何だと考えますか？市長や教育委員会にお聞きします。
市のトップや、教育現場のトップの考えが子供たちに与える影響は大きいのでお聞かせ下さい。
また教育委員会の委員は、どのような手続きで、またどのような理由で選出されるのですか？

(50代 男性)

【総務部 秘書広報課 回答】

市長は、議会開催月を除いた月に小学校、中学校を訪問しております。子ども達の学力と意欲や考え方を把握するため2時限程授業参観し、子ども達と会話しながら給食も食べています。
また、訪問時には校長先生と、その学校の状況等についても懇談をしております。
教育についても市長は教育委員と意見交換をして、将来子ども達が何処へ行っても故郷である我孫子の文化・歴史、そして我孫子の良さを胸をはって誇れるよう「ふるさとカリキュラム」というものを授業に取り入れ、ふるさとを愛する気持ちをもってほしいと考えています。

【教育委員会 指導課 回答】

教育委員会では、「子どもの創造性と自主性を育む教育の充実」を学校教育の目標として掲げています。児童生徒の「生きる力」の育成を目指し、豊かな心・確かな学力・健やかな体の育成に取り組んでいます。

【教育委員会 総務課 回答】

教育委員は、「人格が高潔で、教育に関し識見を有するもの」のうちから、市長が議会の同意を得て任命しています。任命にあたっては、保護者を必ず含めることや、地域性、男女のバランス等を考慮しています。

我孫子市の教育委員の詳細については、市ホームページ「教育委員」のページをご覧ください。

日々子育て支援センターを利用し、色々なイベントに参加しています。いつもとても楽しく楽しみしています。先生方や広場に来ている方々に育てて頂いており大変感謝しています。成長を実感したり、皆さんと話をすることで、悩みや不安を解決したり共有する事が出来大変助かっております。

(40代 女性)

【子ども部 保育課 回答】

有り難いコメントに感謝いたします。

子育て支援センターは、親子でゆったりと遊べ、交流できる場です。子育てに悩んだ時、不安を解決したり、共有することができることを目的に設置しています。これからも保護者の皆様が「子育てが楽しい」と思え、生き生き子育てできる環境づくりにスタッフ一同努力していきます。

子供が小さいため、我孫子市の子育て支援施設(広場)をよく利用させていただいております。他の市ではそのような施設がないと知り、とても有難いと感じております。

定期的に行なわれる広場のイベントもとても楽しみです。これからもよろしくお願い致します。

(20代 女性)

【子ども部 保育課 回答】

これからも皆様に喜んでいただけるよう、子育てに役立つ活動や利用ニーズにあわせ定期的にイベント等を実施していきます。

我孫子市は子育て支援に力を入れていると感じています。子育て支援施設、待機児童0など、とてもありがたく思っています。

(30代 女性)

【子ども部 保育課 回答】

有り難いご意見感謝申し上げます。今後も「待機児童ゼロ」を堅持し、「子育てにやさしいまちづくり」に力を入れていきます。

我孫子駅ホームにエレベーターを設置してほしい。赤ちゃんステーションの増加。子供医療費の無料化(柏より安いが、無料の市もたくさんあります)

(30代 女性)

【子ども部 保育課 回答】

赤ちゃんステーションは、毎年少しずつではありますが、加入店舗数も増えています。今後も市内個人事業者、企業等に協力依頼をし、増加に努めます。

【建設部 交通課 回答】

我孫子駅のホームエレベーター設置については、当駅を管轄するJR東日本東京支社に要望しているところです。現時点において、JR東日本東京支社から具体的な計画等は示されていませんが、今後も粘り強く要望を続けていきます。

産後ヘルパーやファミリーサポート制度について、料金が高いため、預けたくても預けられない場合があるので料金の見直しをお願いしたい。

(30代 男性)

【健康福祉部 健康づくり支援課 回答】

現在実施しているママヘルプサービスは、出産後、家族等から十分な家事、育児の援助が受けられず、心身の不調や育児不安等がある産後2か月未満の産婦のいる家庭に対して、ママヘルパーを派遣し支援を行っています。利用料金は、1時間あたり500円となっています。

【秘書広報課 広聴担当から】

第2回eモニターアンケートにご協力いただきましてありがとうございました。

子育て・教育に関して様々なご意見をお寄せいただき、モニターの皆さんの関心の高さがうかがえました。

また、不明な点や書きつくせない点がある場合には、我孫子市ホームページ「市政へのメール」でお送りいただければ、こちらから担当課にお伝えいたします。

なお、今回、問11の文字制限の不備につきましては、eモニターの皆さんに多大なご迷惑をおかけしたことを深くお詫び申し上げます。